

第5学年体育科

「狙え高得点！ラケット満塁ベースボール ～ボール運動ベースボール型～」

学習指導者 山口 誉之

単元の概要

バットの代わりにテニスラケットを使用できる、ティーボールを簡易化したゲームを経験する中で、ボールを前に飛ばしたり、得点に絡んだりする楽しさを味わった子供たちは、「楽しく西組とクラスマッチをして勝とう」と単元の目標を設定した。その後、みんなで「遠くに飛ばすには」「狙ったところに飛ばすには」「早くアウトにするには」などの勝利につながるポイントを見付けながら、チームで課題に応じた練習を行い、少しずつ技能と戦術をレベルアップしていった。

課題設定

前時の学習を振り返り、クラスマッチに向けてまだ取り組みたいことが残っているチームの意見から、学習課題を設定した。その後、「今日はチームでどんなことに取り組みますか」という教師の問いかけにより、「**目標と今のチームを比べ、必要性の高いものを選ぶ**」という方法を想起し、勝利につながるポイントを解決したい順に並べたチームボードを使って、本時取り組むチームの課題を設定した。



クラスマッチで勝つためにチームの課題を解決しよう

狙ったところに打つために打ち方を工夫しよう

解決の見通し

チームボードにある戦い方を考えるためのキーワード（打ち方、狙う場所など）や補助黒板に示された動き方を手掛かりに「アウトゾーンから遠い端の方を狙おう」「体の向きを大げさに変えながら練習しよう」のようなチームの課題に合わせた戦い方と練習方法を話し合った。その後、兄弟チームにチーム課題や練習方法を共有する時間を設け、練習中に何に対する助言が欲しいのかを明らかにした。

解決

兄弟チームとゲーム形式の練習を行い、見通しで話し合った動きを試した。その中で、気付いたことを助言し合う兄弟チームを紹介することで、どのチームもクラスみんなで1点でも多くとれるように助言し合い、一人一人が課題の解決に向かっていった。その後、練習で試した動きの有効性を確かめるために、「守備位置」や「打球方向」、「得点」のデータを取りながら、メインゲームを行った。



ラケットの面の真ん中がボールに当たるように、少し上の方を振ってみて

振り返り

データやゲームの様子を基に、チームで「上手くいった点とその理由」について振り返りを行った。上達した理由を問うことで、「チームの状況から課題を設定したらやることははっきりしたから」「友達が打ち方を横に付いて教えてくれたから」などの課題設定で想起した方法を使うことや、他者と関わることのよさを実感していた。その後、もう少しだけ課題解決のために練習がしたいという声を取り上げ、次時はクラスマッチに向けて最終調整をしていこうと意欲を高める姿が見られた。



考察（○：成果、▲：課題）

- 目標を常に意識することで、全員で上手くなろうという意識のもと、勝利につながるポイントを主体的に見付け、ポイントを意識した動き方の助言をチーム関係なく行い、高め合うことにつながった。
- ▲ ゲーム形式の練習ができる場を4面準備したが、それぞれのチームが課題に対する練習を行えるような場を細かく準備することで、更なる技能の高まりにつながったのではないかと。

右のQRコードから、学習指導案や他の実践をご覧いただけます。

